



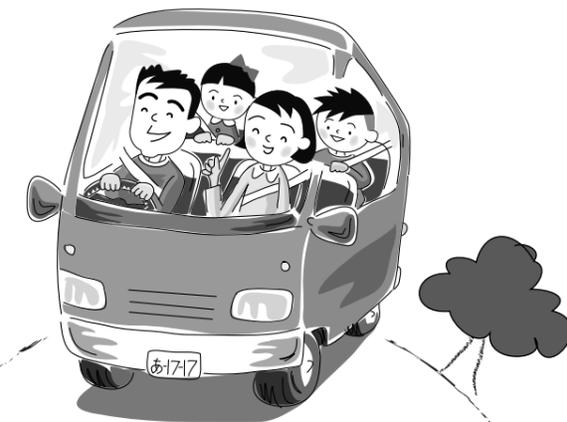
# CONTENTS

トラックドライバーの平均像.....	3	日常の健康管理で主に気を付けていることは何ですか。.....	9
回答者の分布		あなたは、運転中にたばこを吸いますか。.....	10
性別.....	4	あなたは、ふだんお酒を飲みますか。.....	10
年齢.....	4	運転中に眠気を感じたことがありますか。.....	10
トラックドライバー歴.....	4	安全運転・マナー・環境問題について	
勤続年数.....	4	安全運転のため最も心掛けていることは何ですか。.....	11
勤務地.....	5	事故防止のために、歩行者にとくに望むことは何ですか。.....	11
主に運転している車.....	5	安全な車の条件として最も重要視しているものは何ですか。.....	12
家族構成.....	5	高速道路を運転していて困ることは何ですか。.....	12
		一般道路を運転していて困ることは何ですか。.....	12
各設問に対する回答		あなたの運転しているトラックにETC(ノンストップ自動料金 支払いシステム)車載器を装着していますか。.....	13
仕事について		あなたは、環境を守るために以下のような「エコ・ドライブ」 を心掛けていますか。.....	13
現在の仕事についての動機は何ですか。.....	6	全日本トラック協会は、トラック運送事業者の団体ですが、 あなたはトラック協会が10月9日を「トラックの日」として 様々なイベントを実施していることを知っていますか。.....	13
月間の平均走行距離はどのくらいですか。.....	6	全日本トラック協会の広報活動のうち、見たことがある、 聞いたことがあるものをすべてあげてください。.....	14
今日の主な積み荷は何ですか。.....	6	全日本トラック協会が提供する、全国のTBS系ラジオ局で午 後1時～午後4時の時間帯で放送しているラジオ番組「ドラ イバーズ・リクエスト」を聞いたことがありますか。.....	14
現在の月収(手取り)はどのくらいですか。.....	7	安全性優良事業所のマーク(通称Gマーク)のステッカーを つけたトラックを見たことがありますか。.....	14
現在の仕事をしていく上でどのような希望がありますか。...7			
運転を生涯の仕事と考えていますか。.....	7		
荷主からの要望として多いことは何ですか。.....	8		
すべての輸送事業者に「運輸安全マネジメント」の導入が 義務付けられていますが、会社の運輸安全マネジメントの 内容を知っていますか。.....	8		
ここ数年、軽油など燃料価格が高騰しており大きな問題とな っていますが、会社から燃料費削減のために具体的な指示や 対策がありますか。.....	8		
家庭・趣味・健康管理について		まとめ.....	15
休日は主に何をしておこなっていますか。.....	9		
趣味は何ですか。.....	9		

# 家族が好き。 クルマが好き。 地球が好き。

趣味は：「釣り」と「パチンコ」

トラックドライバーになった動機は：「車が好き」



## トラックドライバーの平均像 (アンケート結果から)

- ・年齢..... 43.0歳
- ・トラックドライバー歴..... 16.6年
- ・勤続年数..... 10.5年
- ・家族構成..... 妻と子供2人

### 【調査要領】

#### 1. 調査の目的

トラックドライバーの意識構造を把握し、トラック輸送の安全運行管理体制の確立ならびに交通事故の防止に役立たせるとともに、今後の労働環境の改善を目的として、昭和51年より隔年ごと、平成8年より毎年調査を実施しているものです。

全日本トラック協会では、これからも毎年営業用トラックドライバーを対象にしたアンケートを続け、トラック運送事業の経済的、社会的地位の向上に寄与したいと願っております。

#### 2. 調査の対象

営業用(緑ナンバー)トラックのドライバー

#### 3. 調査の方法

全国40カ所のトラックステーション(TS)でアンケート用紙を配布し、その場で記入していただき回収しました。(青森TS、三國峠TSを除く)

- ・アンケート用紙配布数：3,000枚
- ・用紙回収数2,405枚
- ・回収率80.2%

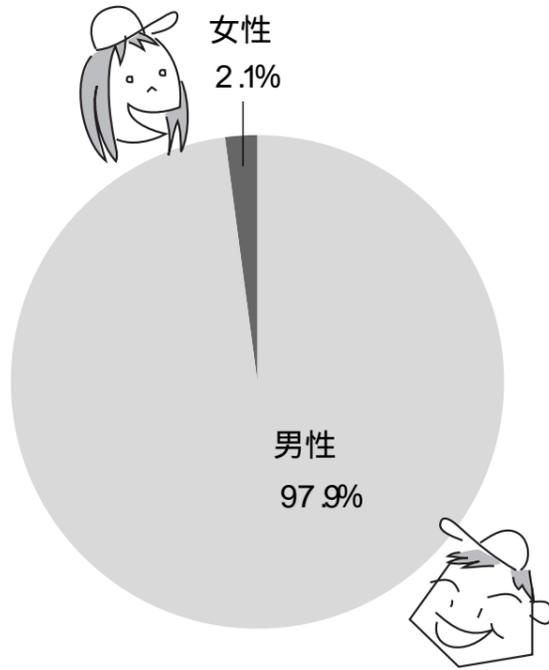
#### 4. 調査の時期

平成19年8月20日(月)～24日(金)

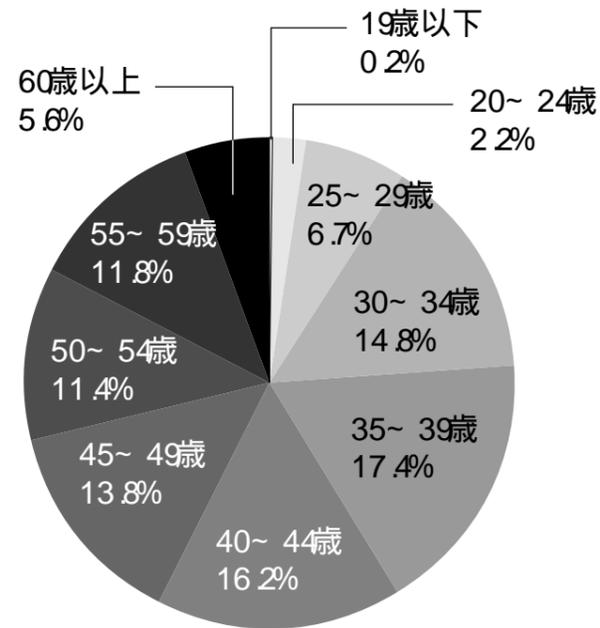
設問に対する回答者数は、アンケート用紙回収数と異なっています。設問によっては複数回答を採用しているため、各項目ごとの構成比合計が100%を超える場合があります。

# 回答者の分布

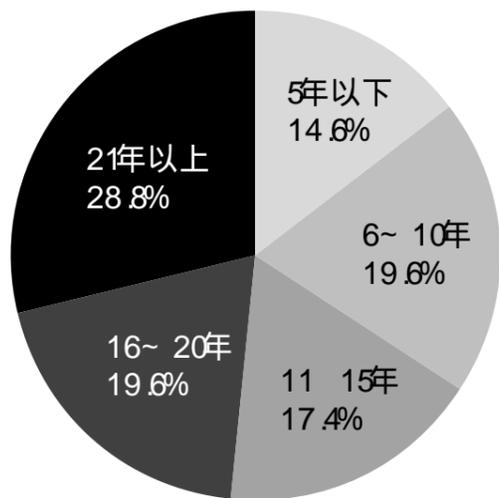
## 1 性別 (N= 2339)



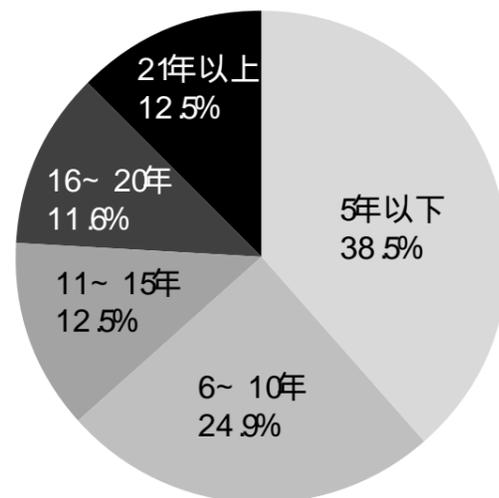
## 2 年齢 (平均 / 43.0歳) (N= 2388)



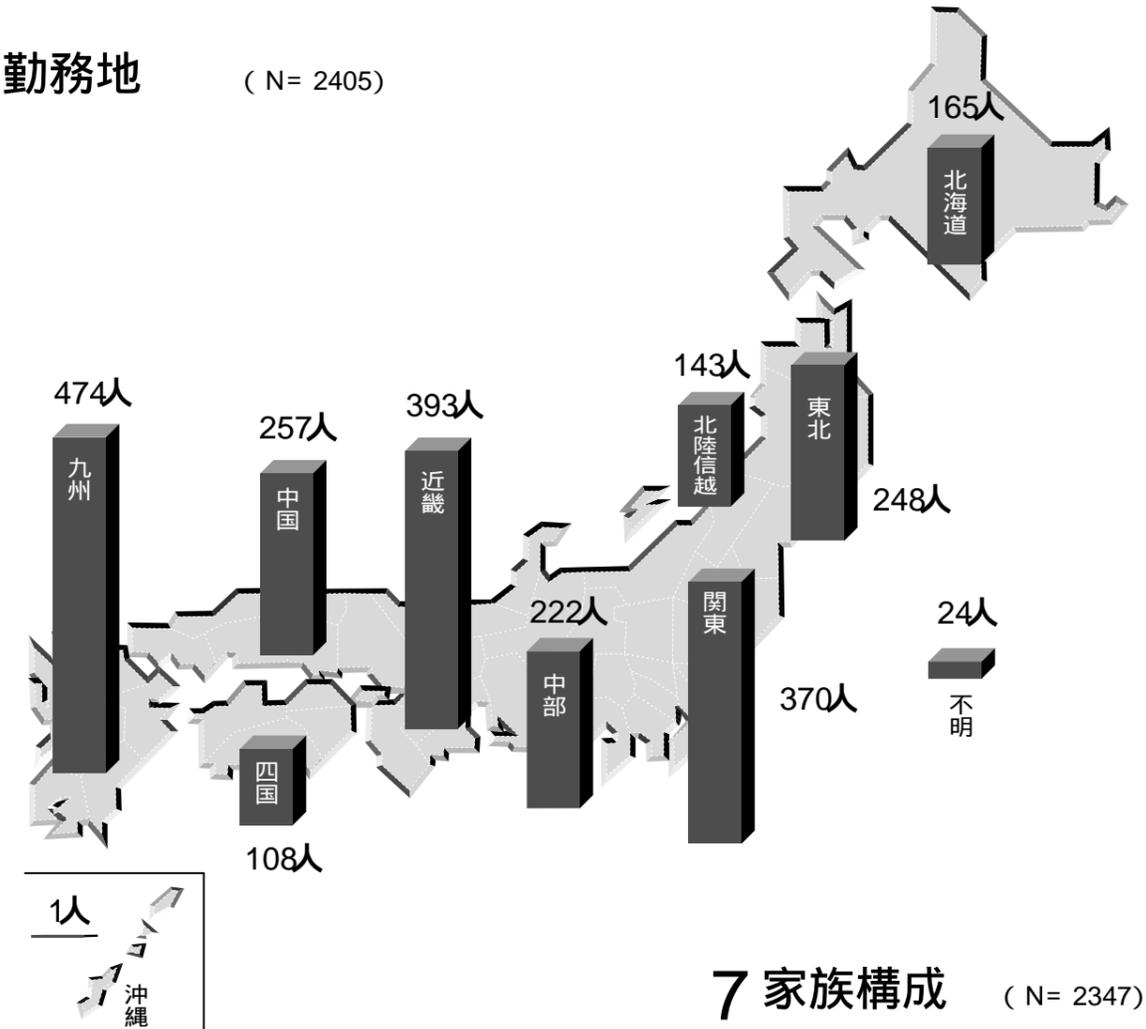
## 3 トラックドライバー歴 (平均 / 16.6年) (N= 2392)



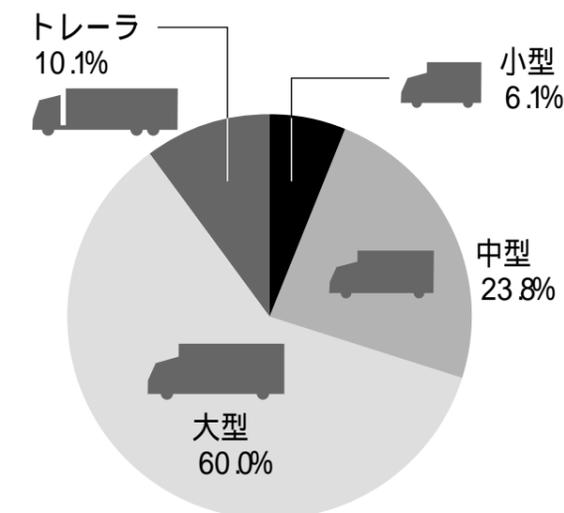
## 4 勤続年数 (平均 / 10.5年) (N= 2389)



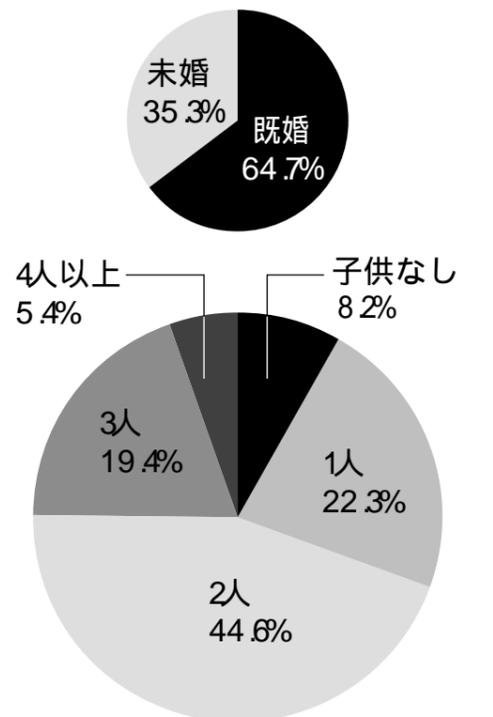
## 5 勤務地 (N= 2405)



## 6 主に運転しているトラック (N= 2373)

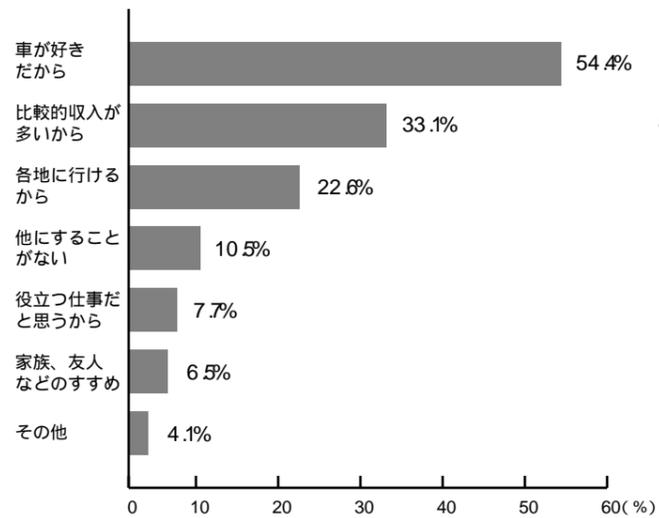


## 7 家族構成 (N= 2347)



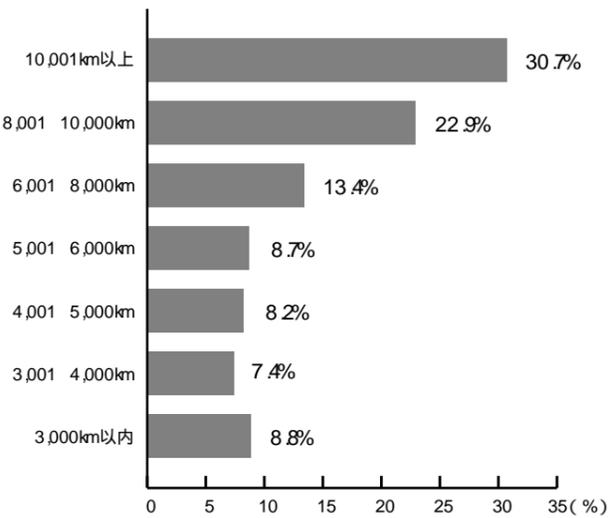
# 仕事について

## 1 現在の仕事についての動機は何ですか。(複数回答可) (N= 2373)



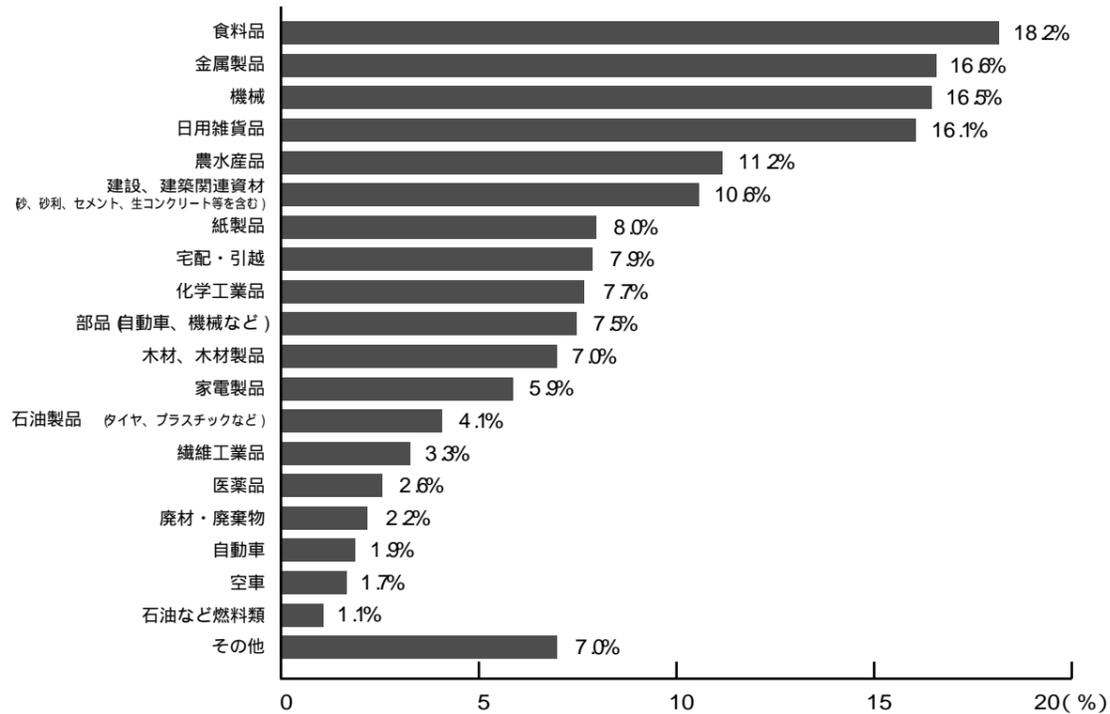
「車が好きだから」が調査開始以来連続1位。

## 2 月間の平均走行距離はどのくらいですか。(N= 2379)



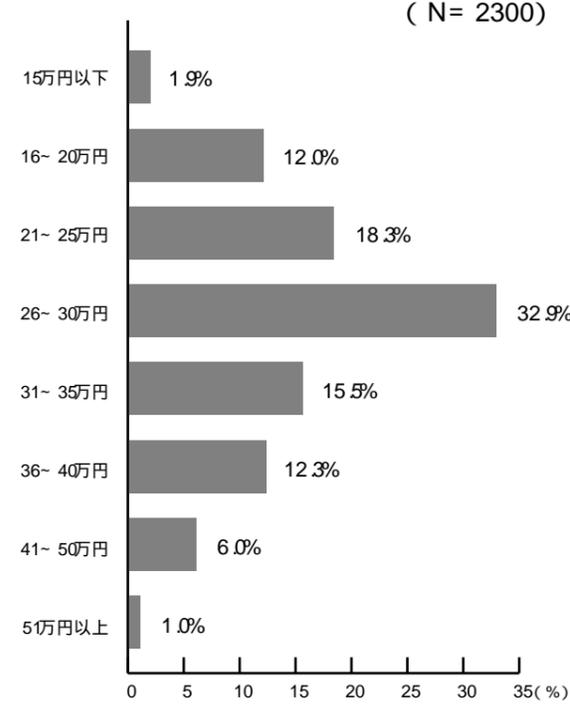
8,001km以上が全体の半数以上というのはここ数年変わらず。3,000km以内が前年に続き、若干ながら増加。

## 3 今日の主な積み荷は何ですか。(複数回答可) (N= 2367)



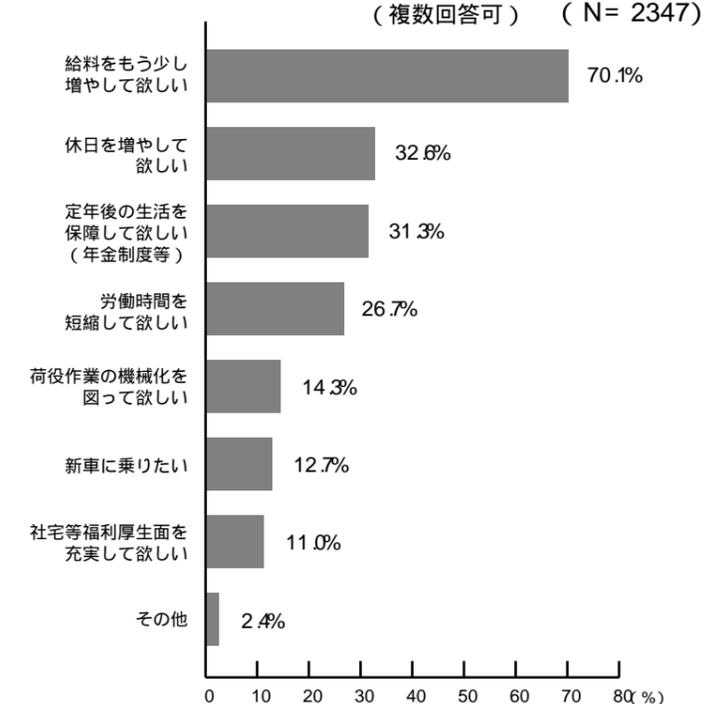
ここ数年、多い輸送品目は「金属製品」「機械」「食料品」「日用雑貨品」。

## 4 現在の月収(手取り)はどのくらいですか。(N= 2300)



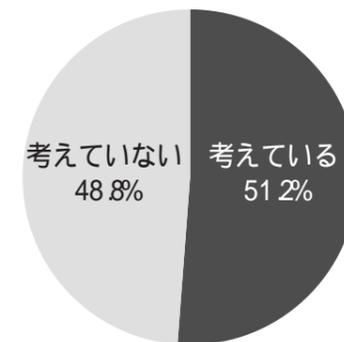
「26~ 30万円」が中心に。ちなみに、平均月収(手取り)は302,370円。

## 5 現在の仕事をしていく上でどのような希望がありますか。(複数回答可) (N= 2347)

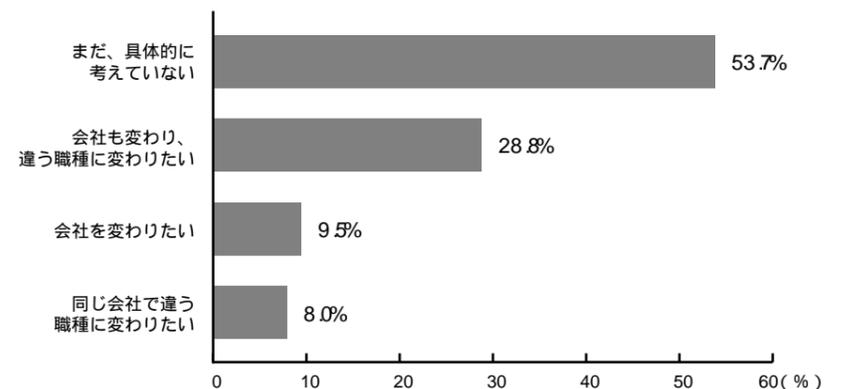


「給料をもう少し増やして欲しい」がトップ。「休日を増やして欲しい」がこれに次ぐ。

## 6 運転を生涯の仕事と考えていますか。(N= 2341)



転職を考えている方にうかがいます。

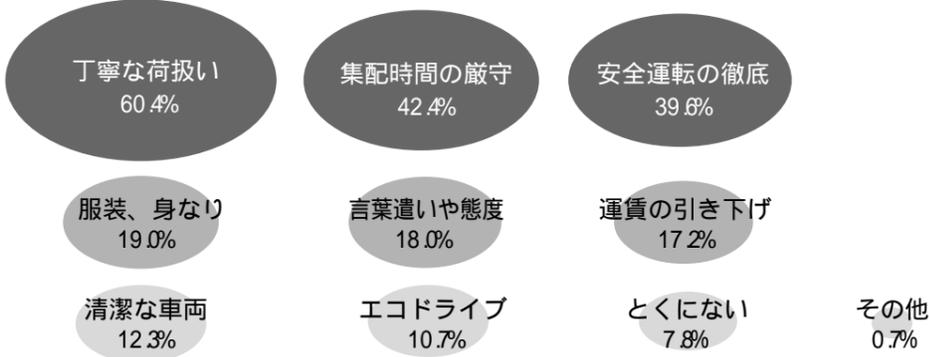


昨年と違い、運転を生涯の仕事と「考えている人」が半数を超えました。「会社も変わり、違う職種に変わりたい」が減少した一方、「会社を変りたい」人が増加した結果に。

# 家庭・趣味・健康管理について

## 7 荷主からの要望として多いことは何ですか。 (複数回答可)

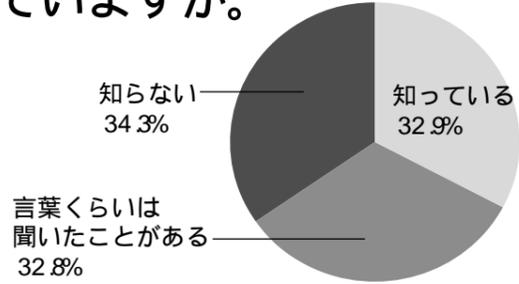
(N= 2359)



新たに「清潔な車両を望む」との項目を追加。「集配時間の厳守」が前回に比べ減少したものの、「積み荷の丁寧な扱い」は増加。「安全運転の実施」と並び、上位を占めるのはここ数年の傾向。

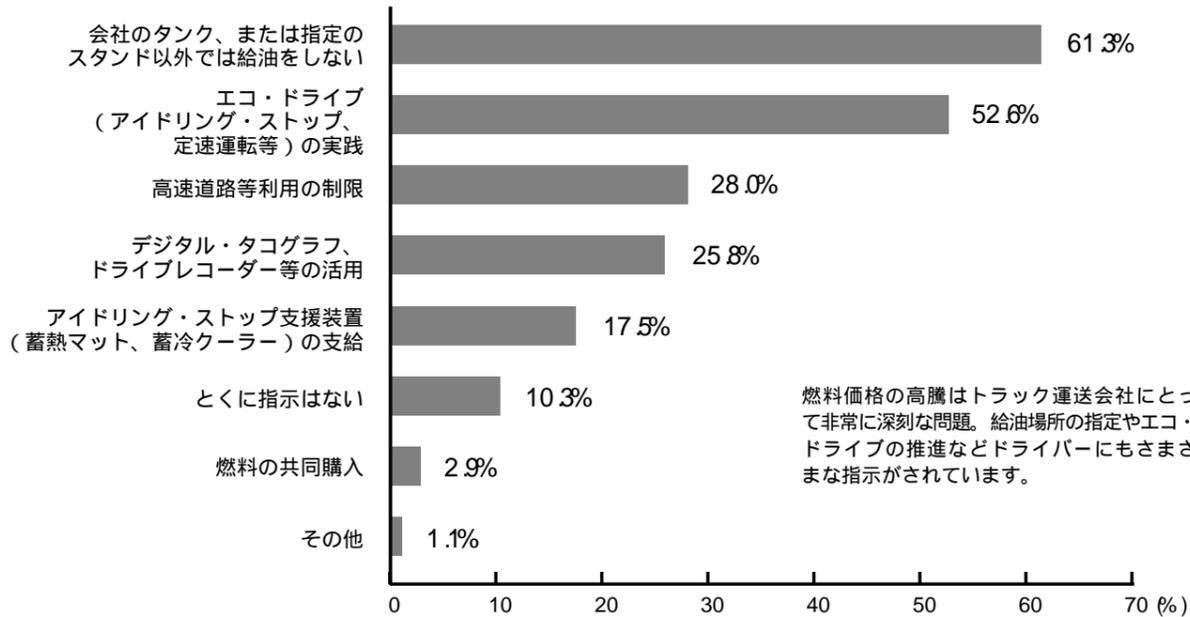


## 8 すべての輸送事業者に「運輸安全マネジメント」の導入が義務付けられていますが、会社の運輸安全マネジメントの内容を知っていますか。 (N= 2368)



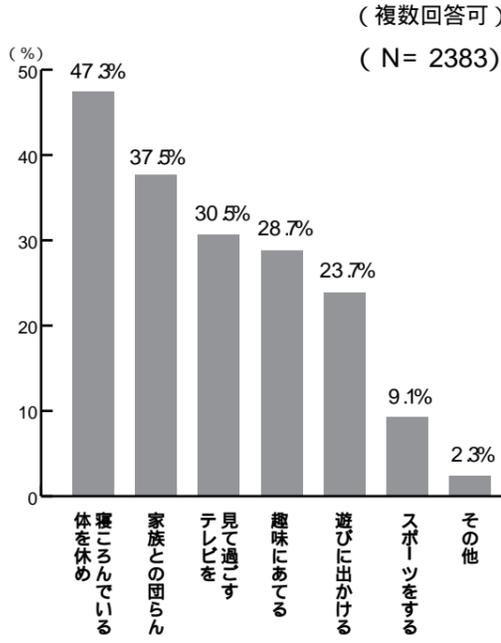
昨年10月1日から導入された「運輸安全マネジメント」。正確に内容を把握していないドライバーが全体の約3分の2という結果になりました。

## 9 ここ数年、軽油など燃料価格が高騰しており大きな問題となっていますが、会社から燃料費削減のために具体的な指示や対策がありますか。 (複数回答可) (N= 2378)



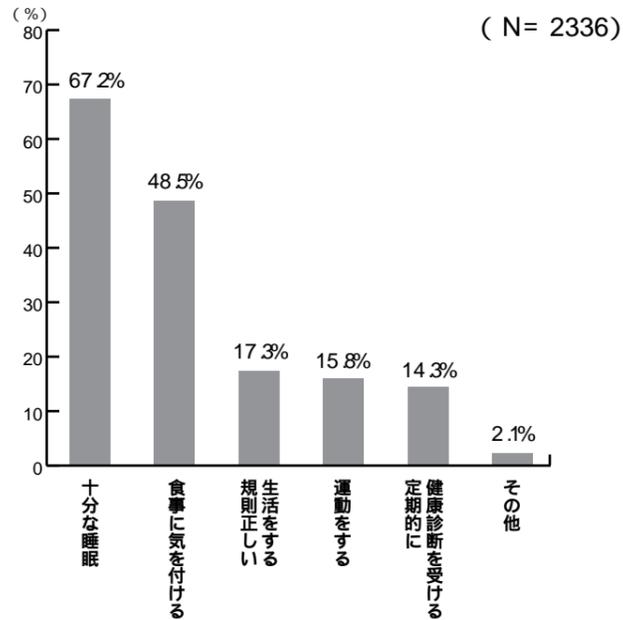
燃料価格の高騰はトラック運送会社にとって非常に深刻な問題。給油場所の指定やエコ・ドライブの推進などドライバーにもさまざまな指示がされています。

## 1 休日は主に何をしてお過ごししていますか。 (複数回答可) (N= 2383)



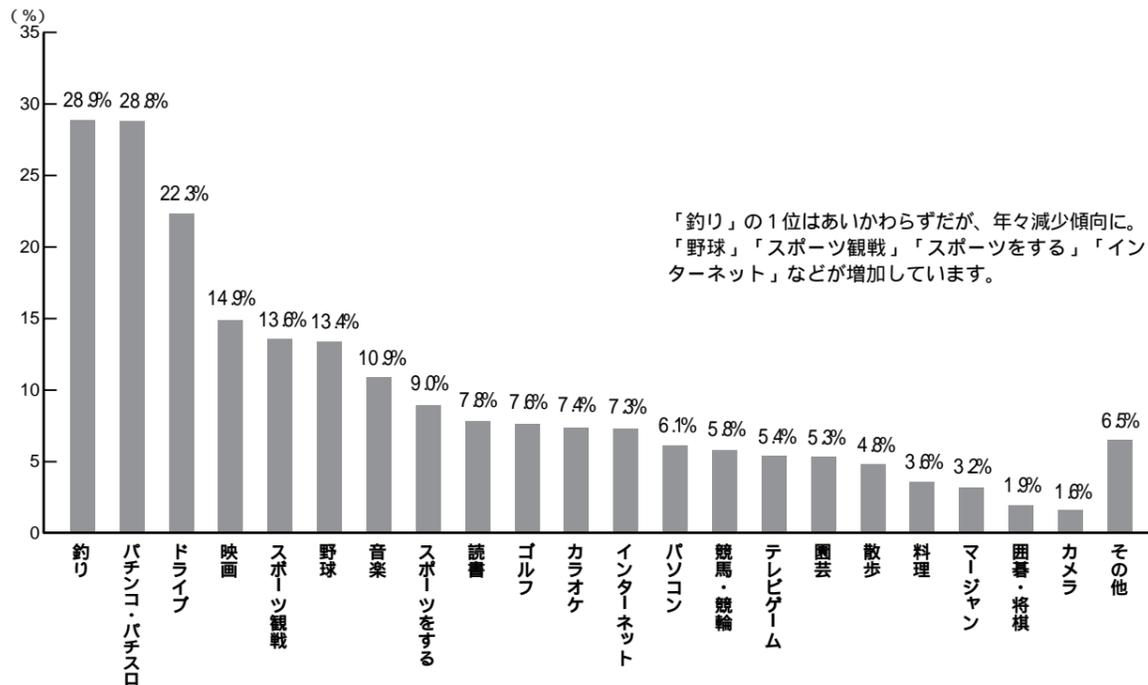
「テレビを見て過ごす」が「趣味にあてる」を抜いて3位に。「体を休め寝ころんでいる」がここ数年、減少傾向に。

## 3 日常の健康管理で主に気を付けていることは何ですか。 (複数回答可) (N= 2336)



十分な睡眠を心掛けるドライバーが多くなっています。

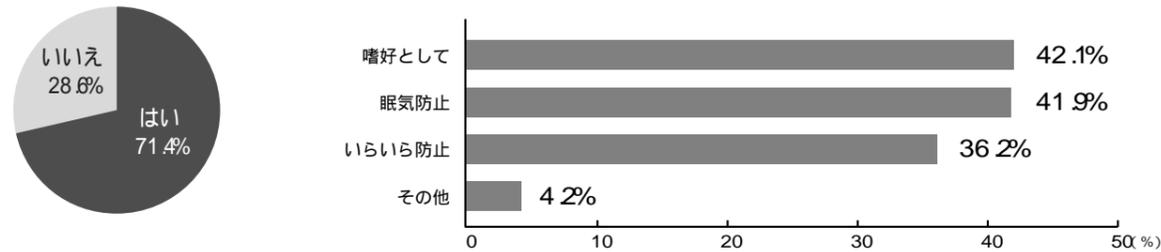
## 2 趣味は何ですか。 (複数回答可) (N= 2334)



「釣り」の1位はあいかわらずだが、年々減少傾向に。「野球」「スポーツ観戦」「スポーツをする」「インターネット」などが増加しています。

## 4 あなたは、運転中にたばこを吸いますか。

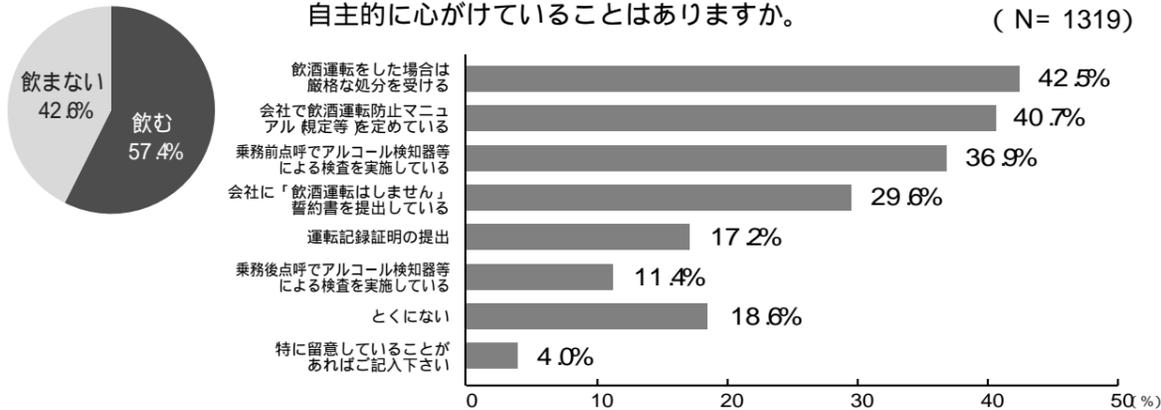
(N= 2392) 運転中にたばこを吸う方にうかがいます。 (N= 1648)



日本の成人男女の平均喫煙率は26.0% (たばこ産業「平成18年全国たばこ喫煙者率調査」より) に対して、ドライバーという仕事の性質上非常に高い喫煙率となっています。

## 5 あなたは、ふだんお酒を飲みますか。

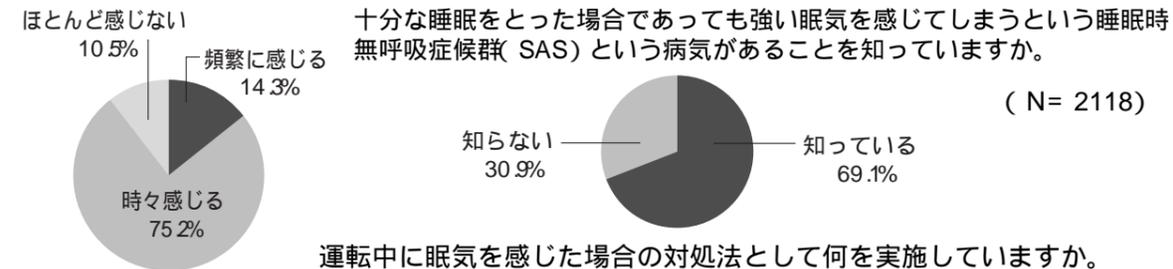
(N= 2380) 飲酒運転防止のため、会社で実施していることや自主的に心がけていることはありますか。 (複数回答可) (N= 1319)



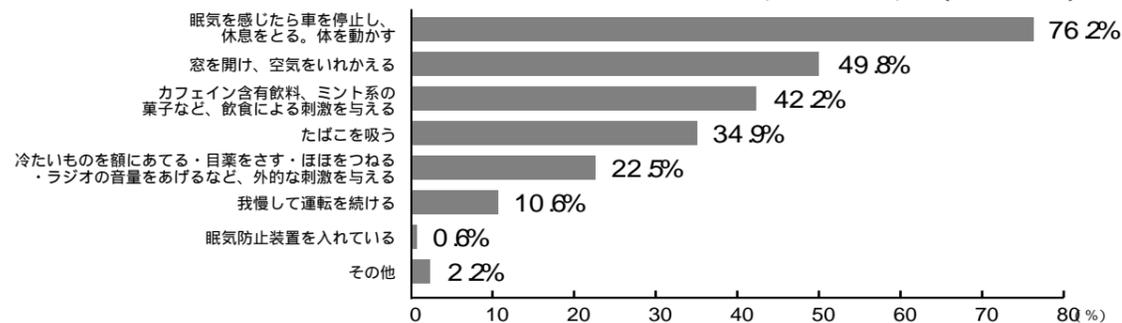
ここ数年、厳罰化が進む飲酒運転。事業者・ドライバーとも、その撲滅に真剣です。「飲酒運転をした場合は厳格な処分を受ける」が1位。設問以外の留意点として「運転するまで8時間以上ない時は飲まない」「飲んだら絶対乗らない」「家に帰った時だけ飲む」などが目立ちました。

## 6 運転中に眠気を感じたことがありますか。

(N= 2366) 眠気を感じたことがある人にうかがいます。



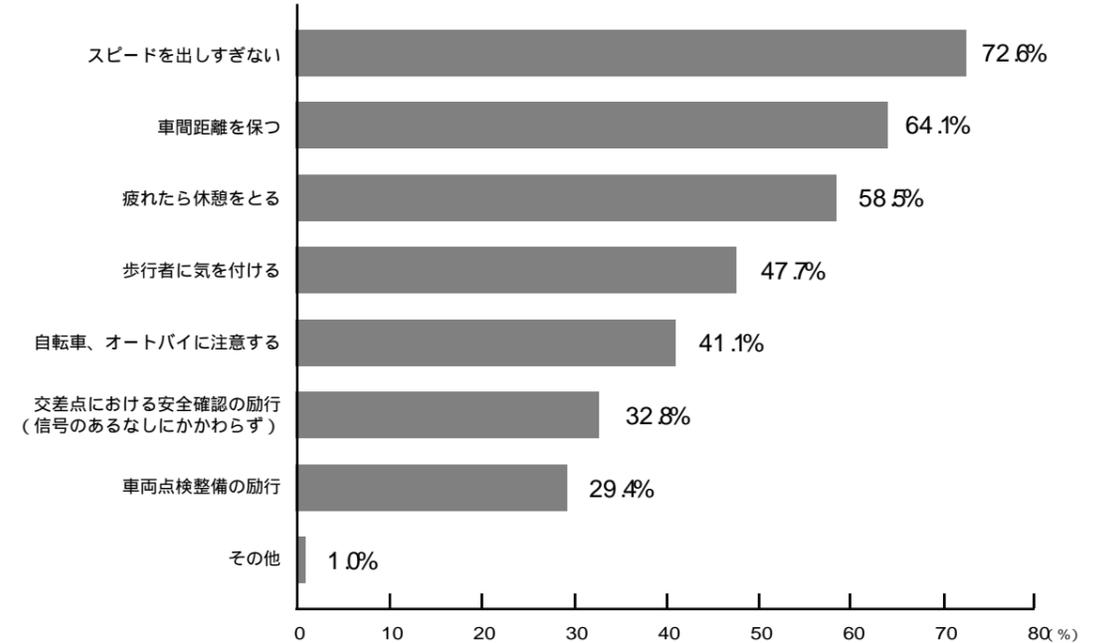
十分な睡眠をとった場合であっても強い眠気を感じてしまうという睡眠時無呼吸症候群 (SAS) という病気があることを知っていますか。



約9割のドライバーが、眠気を感じたことがあると回答。また、睡眠時無呼吸症候群 (SAS) をほとんどのドライバーが知っており、眠気を感じたら8割近いドライバーが停止すると回答しました。

## 1 安全運転のため最も心掛けていることは何ですか。

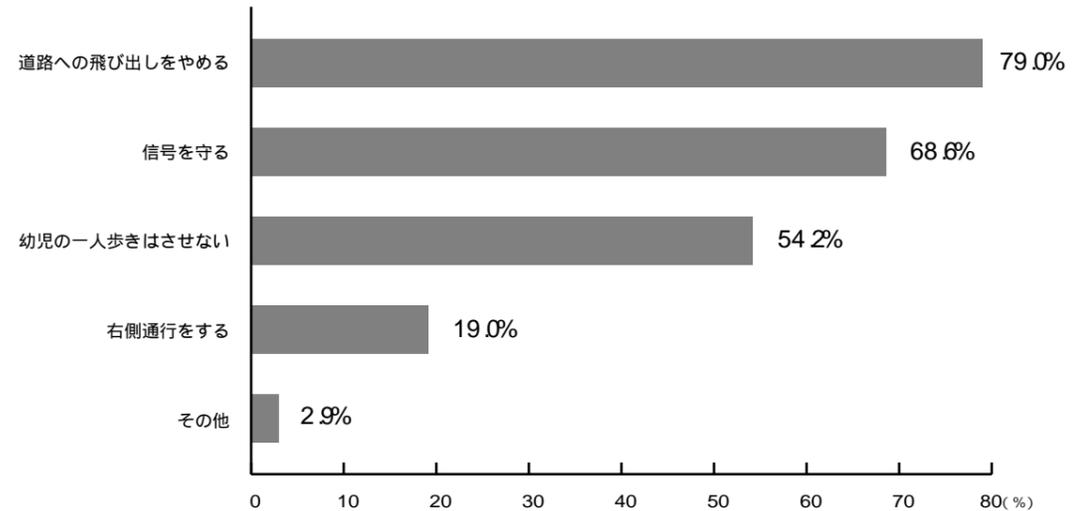
(複数回答可) (N= 2378)



トラックドライバーの安全に対する意識は年々増加。「スピードを出しすぎない」「疲れたら休憩をとる」「車間距離を保つ」は、トラックドライバーにとっては常識。

## 2 事故防止のために、歩行者にとくに望むことは何ですか。

(複数回答可) (N= 2369)

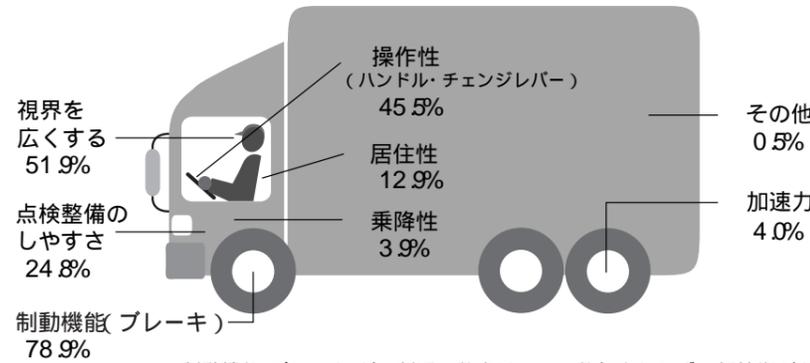


事故の撲滅にはドライバー同様、歩行者側も基本的な交通ルールを守ることが不可欠。市民一人ひとりに、交通ルールに対する意識の向上が求められます。

### 3 安全な車の条件として最も重要視しているものは何ですか。

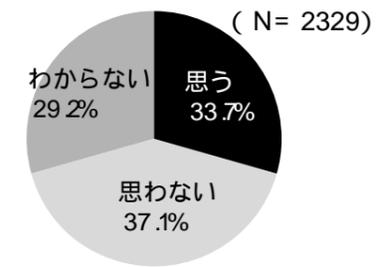
(N= 2351)

(複数回答可)



制動機能(ブレーキ)が8割近い数字は、ここ数年変わらず。新技術がどんなに発達しても、ハンドルを握るドライバーが安全運転を心がけなければならぬと、プロドライバーは認識しています。

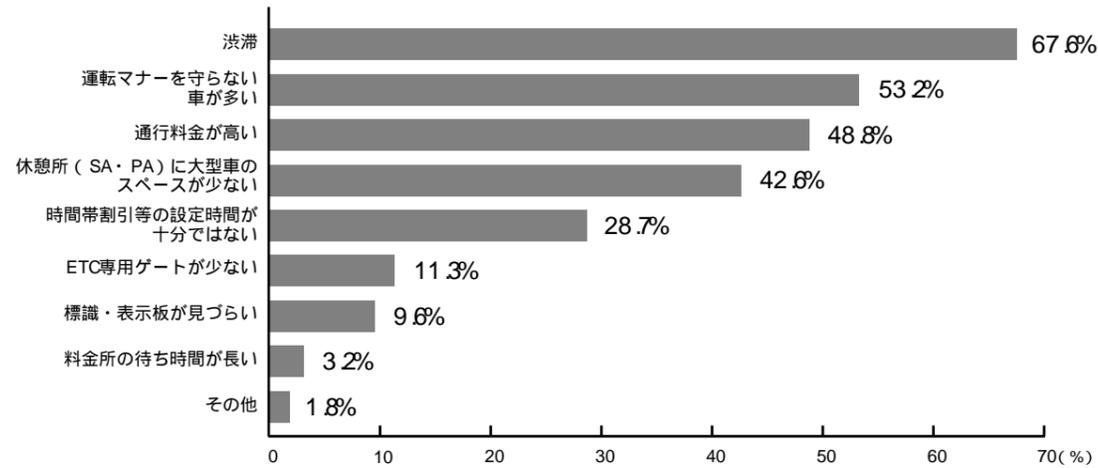
ASVなど新技術により交通事故は減ると思いますか。



### 4 高速道路を運転していて困ることは何ですか。

(複数回答可)

(N= 2359)

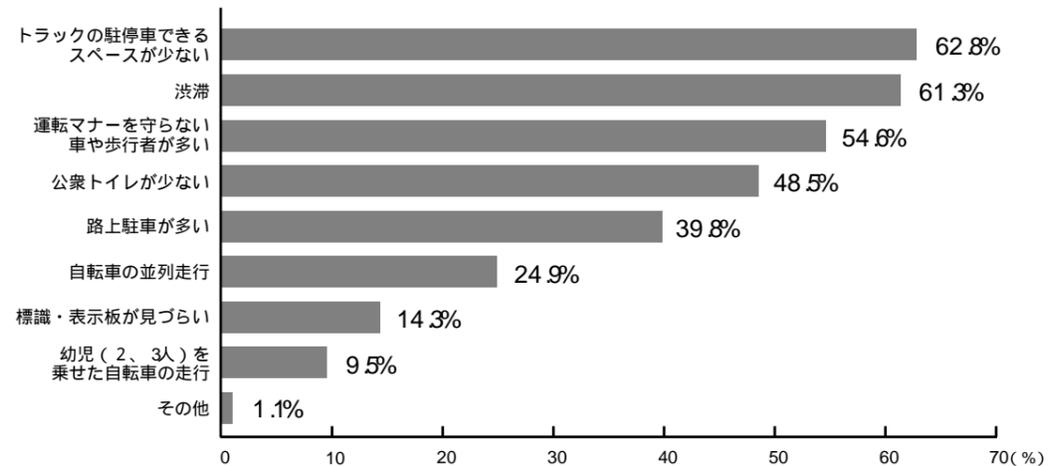


「渋滞」「運転マナーを守らない車が多い」「通行料金が安い」がここ数年のベスト3。過労運転が最近問題になっているだけに、「休憩所(SA・PA)に大型車のスペースが少ない」を多くのドライバーが指摘しているのも気がかりです。

### 5 一般道路を運転していて困ることは何ですか。

(複数回答可)

(N= 2378)



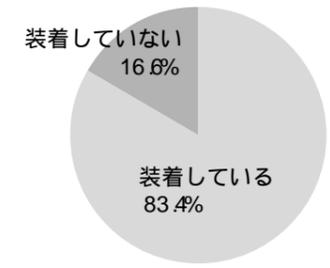
一般道への不満は、全体的に増加傾向。取締りが強化されたにもかかわらず「路上駐車がが多い」が増加し、その一方「トラックの駐停車できるスペースが少ない」ことに、6割以上のドライバーが困っています。

### 6 あなたの運転しているトラックにETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)車載器を装着していますか。

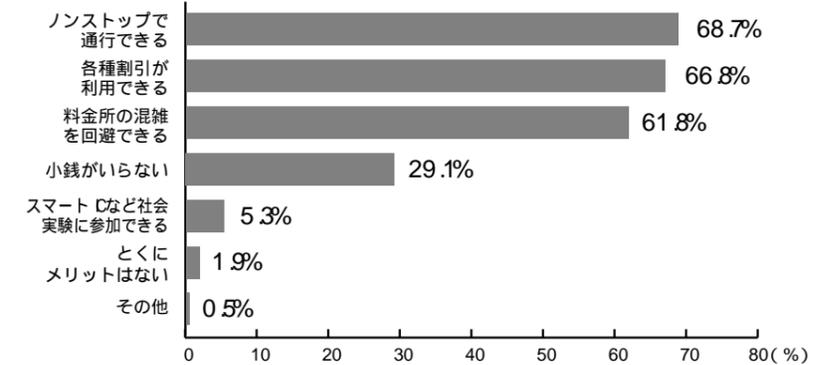
装着している人にうかがいます。ETC利用のメリットは何ですか。(複数回答可)

(N= 1941)

(N= 2374)



トラックにETCはもはや当たり前。ノンストップ通行や料金所の混雑回避など以外に、各種割引や社会実験などのメリットを認知するドライバーが年々増加しています。



### 7 あなたは、環境を守るために以下のような「エコ・ドライブ」を心掛けていますか。

	いつも行っている	たまに行っている	あまり行っていない
アイドリング・ストップを行う (N= 2331)	23.3%	57.1%	19.6%
経済速度で走る 一般道路なら時速40、高速道路なら時速80程度で走るのが経済的な走り方です。 (N= 2346)	32.8%	50.0%	17.2%
定速運転の励行 ギアを選択を適切にし、早めのギアチェンジを心掛け、波状運転をしないことが定速運転です。 (N= 2339)	57.0%	36.5%	6.5%
急発進、急加速、急ブレーキをしない運転をする (N= 2342)	69.8%	23.9%	6.3%

8~9割のトラックドライバーがエコ・ドライブを実践している結果となり、さらに年々増加傾向にあります。プロとして、環境問題に対する意識の向上は明らかです。

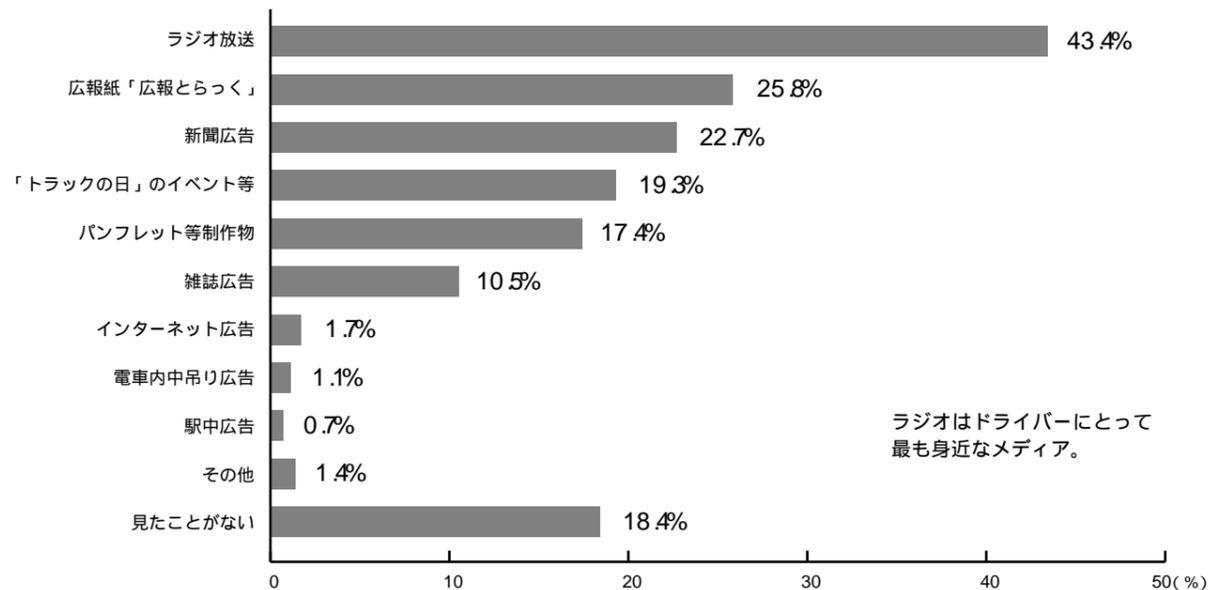
### 8 あなたは10月9日が「トラックの日」ということを知っていますか。

(N= 2363)

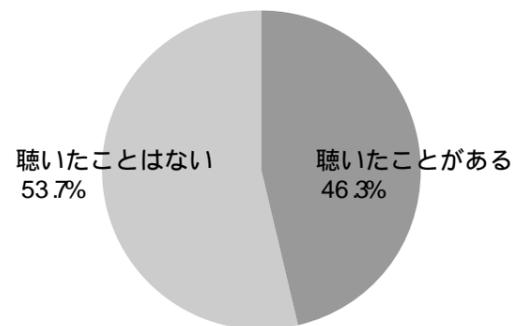


6割のドライバーが、「トラックの日」を知っているという結果はここ数年ほとんど変わらず。

## 9 全日本トラック協会の広報活動のうち、見たことがある、聞いたことがあるものをすべてあげてください。 (N= 2294)

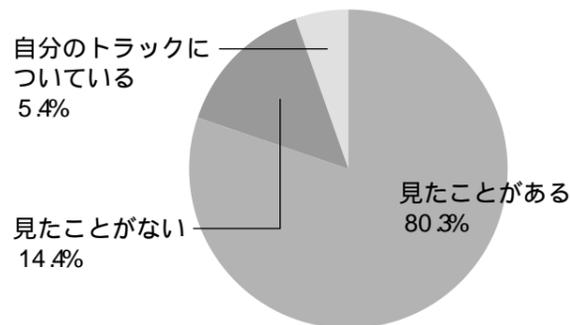


## 10 全日本トラック協会が提供する、全国のTBS系ラジオ局で午後1時～午後4時の時間帯で放送しているラジオ番組「ドライバーズ・リクエスト」を聞いたことがありますか。 (N= 2360)



プロドライバーの約半数が「ドライバーズ・リクエスト」を聞いたことがあると回答。番組がドライバーに着実に定着していることがわかります。

## 11 安全性優良事業所のマーク (通称：Gマーク) のステッカーをつけたトラックを見たことがありますか。 (N= 2360)



安全性優良事業所マーク (通称Gマーク) の事を、8割以上のドライバーが知っている結果に。「自分のトラックについている」も年々増加しています。

## まとめ

わが国の自動車運転免許保有者数は79,329,866人(平成18年末現在)で、このうち営業用トラックドライバーは、864,320人(16年度末)と約1%にすぎません。しかし今やトラック輸送は国内貨物輸送のトン数で約9割、トンキロでも約6割を占める物流の基幹産業です。日本のこの高度な経済活動や豊かな国民生活を根底で支えているのが、トラックドライバーの皆さんなのです。

しかしトラックドライバーを取り巻く環境は他産業と比較しても、必ずしも良好とは言えません。トラック運送業界は、規制緩和により事業者数が大きく増加しているにもかかわらず、輸送需要はそれほど伸びず、運賃の低迷が続いています。また、安全・環境対策などへのコスト負担の増加や軽油価格の高騰が追い打ちを掛けています。その結果として長時間労働や賃金の低迷などトラックドライバーにも大きな負担がかかっています。

そうしたドライバーの大きな負担が、アンケート結果からも読みとれます。ドライバーの平均賃金はアンケートの平均では302,370円、全産業334,910円(厚生労働省：毎月勤労統計調査年報平成17年)と比較して、低い水準となっています。また、道路貨物運送業の平均年間労働時間は2,260時間(同)で、全産業1,829時間(同)を大きく上回っていることから、時間あたりの賃金が低いことが特徴になっています。アンケートからも「給料を少し増やして欲しい」と回答したドライバーは70.1%で、「休日を増やして欲しい(32.6%)」、「定年後の生活を保証して欲しい(31.3%)」、「労働時間を短縮して欲しい(26.7%)」と続きます。休日の過ごし方としては、「体を休め寝ころんでいる」と回答するドライバーが47.3%と、半数近くを占める結果となっています。

このように、大変な仕事のトラックドライバーですが、健康の面でも危惧される結果がでています。トラックドライバーの喫煙率は71.4%、日本の成人男女の平均喫煙率の26.0%と比較すると、非常に高い割合となっています。喫煙の理由として、「眠気防止(41.9%)」、「いろいろ防止(36.2%)」と回答するトラックドライバーが多いことから、仕事の性質上やむを得ず喫煙し

ていると考えられます。

プロドライバーには、安全運転と環境にやさしい運転のお手本としての役割が求められています。アンケート結果によると、安全運転のため最も心掛けていることは、「スピードを出しすぎない(72.6%)」、「車間距離を保つ(64.1%)」をあげています。また、環境に配慮したエコ・ドライブが目立っていますが、「アイドリング・ストップを行う(80.4%)」、「経済速度で走る(82.8%)」、「定速走行の励行(93.5%)」、「急発進、急加速、急ブレーキをしない(93.7%)」などのエコ・ドライブを実践しているトラックドライバーが全体の8割以上を占めています。また、軽油価格が高騰を続け、燃料費削減のためにエコ・ドライブ(アイドリングストップ、定速運転等)を実践していると回答したドライバーは52.6%にのぼり、トラック運送事業者にとって非常に深刻な問題である燃料問題は、ドライバーにも様々な取り組みが求められています。

トラック運送業界は、経済活動や国民生活を支える公共輸送機関として、国内貨物輸送の大半を担っていますが、原油価格の高騰、運賃の低迷、世界一高い高速道路料金、9種類に及ぶ重い自動車関係諸税の負担など様々な課題が山積しており、これまでにない危機的状況にあります。このようななか、トラック輸送を支えているのがトラックドライバーです。わが国では今後、本格的な少子高齢化社会を迎え、労働力の確保、とくに若年労働力の確保が重要なテーマとなります。

また、現下のトラック運送業界では燃料価格が高騰を続け厳しい経営環境にあり、トラックドライバーの労働環境も他の産業と比較して一層厳しいものとなっています。

このような環境の下で、良質な労働力を確保するには、労働環境の改善を図り、魅力ある業界とすることが重要であり、このためにも適正な運賃の収受が不可欠です。

今後も豊かで快適な国民生活を支えていくためには、トラック輸送に対する国民の皆さんのご理解が欠かせません。安心・安全な輸送サービスを提供するためトラック運送事業者、さらにはトラックドライバーも日夜頑張っています。